

令和元年度第2回霞ヶ浦スタディバスツアー [工業・水利用編] を実施しました！

[日 時] 令和元年8月2日(金曜日) 8時40分から14時30分まで
[場 所] 集合・解散：霞ヶ浦環境科学センター
見 学 先：日本製鉄株式会社鹿島製鉄所
[参加者] 33人(大人：16人，子ども：17人)

霞ヶ浦の生態系サービス(自然の恵み)について、関連する施設を見学することで学び、霞ヶ浦をはじめとする自然環境の大切さに気づき、環境に配慮した行動を考えるための「霞ヶ浦スタディバスツアー」を、霞ヶ浦の恩恵の1つである「工業用水」をテーマとして実施しました。

霞ヶ浦環境科学センターに集合して、バスで日本製鉄株式会社鹿島製鉄所(鹿嶋市光)に向かいました。

バスの中ではセンター講師の小川囑託から、霞ヶ浦の概要について、霞ヶ浦の水の利用について、鹿島臨海工業地帯の水についての話を聞き、霞ヶ浦の概要がわかる霞ヶ浦クイズを行いました。



鹿島製鉄所では、講師の大崎氏から、鹿島製鉄所の概要や製鉄の流れ、製鉄工程の中での霞ヶ浦(北浦)の水の利用について説明をいただき、映像資料を視聴しました。鉄が自分たちの身の回りでもどのように役立っているかを学ぶとともに、アルミニウムやカーボン等に比べてリサイクルしやすく、環境にやさしい素材であることがわかりました。

また、霞ヶ浦の水との関係としては、鉄1tを作るのに水180tが必要で、1日で300万tもの水が必要であることや、その水の92%を製鉄所内でリサイクルして再利用し、環境に配慮した水利用がなされていることを学びました。



工場の見学では、赤く熱された鉄板を作る工程を見学しました。ものすごい熱で工場内もとても暑く、その熱を冷やすために水が利用されていることを体感することができました。

日本最大級の製鉄所を見学することで、製鉄が重要な産業であることを学ぶとともに、そこに霞ヶ浦(北浦)の水が利用され、製鉄所もその水を大切にリサイクルして利用していることを知りました。

参加者の皆様からは、「工業での水の大切さや使われ方を知ることができてとてもよかったです」、「真っ赤な鉄が流れてきてびっくりしました」、「霞ヶ浦と製鉄のように組み合わせたものがおもしろい」、「初めての製鉄所は迫力がすごかった」といった感想をいただきました。

これからも楽しく体験しながら学ぶことができるイベントを企画しますので、ぜひ御参加ください。

御参加いただいた皆様、御協力いただいた日本製鉄株式会社鹿島製鉄所の皆様、ありがとうございました。